

# 瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

平成 年 月 日

申請者の住所及び氏名（法人にあつては所在地、名称、代表者名）

代理人の住所及び氏名

工場又は事業場の所在地及び名称

## 1 許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少(変らず)の場合はその理由

## 2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図1、2のとおり

(2) 排水系統及び排水経路の略図

(例) ○○工程→××排水処理施設→No. 1排水口→△△川→瀬戸内海 (○○湾)  
生活排水 - - - - - ↑  
冷却水 - - - - - No. 2排水口 ↑

3 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常  
の値及び最大の値、当該排出水の1日当りの通常量及び最大の  
量並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口		現 状			設置(変更)後			負荷量 の増減
		通 常	最 大	*負荷量	通 常	最 大	*負荷量	
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	p H							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S (mg/L)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	p H							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S (mg/L)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	p H							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S (mg/L)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							
	排水量 (m <sup>3</sup> /日)							
	p H							
	BOD (mg/L)							
	COD (mg/L)							
	S S (mg/L)							
	T-N (mg/L)							
	T-P (mg/L)							

※負荷量(kg/日) = 最大排水量(m<sup>3</sup>/日) × 通常水質(mg/L) × 10<sup>-3</sup>

#### 4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

##### (1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L 以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01mg/L 以下
鉛	0.01 mg/L 以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
六価クロム	0.05 mg/L 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下
砒素	0.01 mg/L 以下	チウラム	0.006 mg/L 以下
総水銀	0.0005 mg/L 以下	シマジン	0.003 mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下
PCB	検出されないこと。	ベンゼン	0.01 mg/L 以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下		
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L 以下	ふっ素	0.8 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	ほう素	1 mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L 以下

備考:海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

##### (2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名			
環境基準点			
環境基準類型			
基準値	水素イオン濃度		
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)		
	化学的酸素要求量 (mg/L)		
	浮遊物質 (mg/L)		
	溶存酸素量 (mg/L)		
	大腸菌群数 (MPN/100mL)		
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)		
	全窒素 (mg/L)		
	全 磷 (mg/L)		

##### (3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

###### ① ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
水質(水底の底質を除く。)	1 pg-TEQ/L 以下

###### ② その他

5 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 周辺公共用水域の水質の現況

(河川域)

測定年月日 平成 年 月 日～平成 年 月 日( 回)

測定分析期間名

河川名		測定点名	
-----	--	------	--

	月日	時刻	流量 (m <sup>3</sup> /日)	pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	S S (mg/L)	n-Hex (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	D O (mg/L)	
水質の現況	月日												
		平均											
	月日												
		平均											
	月日												
		平均											
総平均				～									
将来水質				—							—		

測定点毎に用紙をかえること。

(海 域)

測定年月日 平成 年 月 日～平成 年 月 日( 回)

測定分析期間名

海 域 名		測 定 点 名	
-------	--	---------	--

月 日	時 刻	採取部位	水 温 (℃)	pH	COD (mg/L)	S S (mg/L)	n-Hex (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	D O (mg/L)	
月 日	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
月 日	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
月 日	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
	干満の別:	表 層									
		中 層									
		平 均									
総 平 均				～							
将 来 水 質				—						—	

測定点毎に用紙をかえること。

(2) その他当該水域に関する事項

(3) 予測の方法

- ① 汚濁負荷量の増加の有無（有・無）  
（ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は②③を省略する）
  
- ② 排出水の公共用水域での影響範囲  
（河川域）

（海 域）

新田式  $(\log (r^2 \theta / 2) = 1.226 \log Q + 0.086)$  から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離（ $r$ ）は \_\_\_\_\_ m です。

$\theta =$  \_\_\_\_\_ （拡散角度：ラジアン）

$Q =$  \_\_\_\_\_  $\text{m}^3 / \text{日}$ （最大排水量）

③ 予測の手法

(河川域) 
$$S' = \frac{S Q + (S_0 Q_0 - S'_0 Q'_0)}{Q + (Q_0 - Q'_0)}$$
 から将来の水質を予測すると

地点名 ( )

$S'$  (BOD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (COD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (S S) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-N) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-P) = \_\_\_\_\_ =

地点名 ( )

$S'$  (BOD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (COD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (S S) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-N) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-P) = \_\_\_\_\_ =

地点名 ( )

$S'$  (BOD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (COD) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (S S) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-N) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  (T-P) = \_\_\_\_\_ =

$S'$  : 河川の将来水質 (mg/L)

$S$  : 河川の低水量時の水質 (mg/L)

$Q$  : 河川の低水量時の水量 (m<sup>3</sup>/日)

$S_0$  : 新規に増大する排水を含む全排水の平均水質 (mg/L)

$Q_0$  : 新規に増大する排水を含む全排水の最大排水量 (m<sup>3</sup>/日)

$S'_0$  : 現状での全排水の平均水質 (mg/L)

$Q'_0$  : 現状での全排水の最大排水量 (m<sup>3</sup>/日)

(海 域)

ヨーゼフ・ゼンドナー式  $C = 1 - \exp\left\{-\frac{Q}{\theta dp}\left(\frac{1}{X} - \frac{1}{L}\right)\right\}$  から求めた希釈率C

は次の式の通りです。

$$\begin{aligned} C \text{ ( } r/3 \text{ の地点) } &= \\ C \text{ ( } 2r/3 \text{ の地点) } &= \\ Q &= \quad \quad \quad \text{m}^3/\text{日 (最大排水量)} \\ \theta &= \quad \quad \quad \text{(拡散角度)} \\ d &= 2 \text{ m (混合層厚)} \\ p &= 864 \text{ m/日 (拡散速度)} \\ x &= \quad \quad \text{m,} \quad \quad \quad \text{m ( } r/3, 2r/3 \text{ の距離)} \\ L &= \quad \quad \text{m ( } r \text{ の距離)} \end{aligned}$$

$S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$  から将来水質を予測すると

$r/3$  の地点

$$\begin{aligned} S' \text{ (COD)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (S-S)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-N)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-P)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \end{aligned}$$

$2r/3$  の地点

$$\begin{aligned} S' \text{ (COD)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (S-S)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-N)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-P)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \end{aligned}$$

$r$  の地点

$$\begin{aligned} S' \text{ (COD)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (S-S)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-N)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \\ S' \text{ (T-P)} &= \quad + (\quad - \quad) \cdot \quad = \end{aligned}$$

$S'$  : 測定点付近の将来水質 (mg/L)

$S_1$  : 周辺公共用水域の外縁直近の外側の測定点の現況水質 (mg/L)

$S_0$  : 排出水の平均水質 (mg/L)

## 6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての 事前評価に関し参考となるべき事項